

令和6年度 第3回「SAGA コラボレーション・スクール」

学校運営協議会（学校魅力強化委員会）

令和6年11月12日（火）14:30-16:30

参加者

【委員】川島委員、川崎委員、前田勝委員、早川委員、徳川委員、松田委員、山下委員

【本校職員】岡本校長、中西教頭、田島教諭、山口崇教諭、檜崎教諭、下田教諭

【ラーニング・アドバイザー】五十嵐さん、横尾さん、近藤さん、上瀧さん、松本さん、檜崎さん、高下さん、田中さん、ドジソンさん、堀田さん、草場さん、門脇さん

【視察】教育振興課より4名

挨拶

中西教頭：お忙しいところご来校ありがとうございます。

岡本校長：ご出席ありがとうございます。新しいコース制がスタートして半年が経ちます。1年生のテーマ設定の時期になり、来校いただきアドバイスいただけることに感謝します。大人のみなさんと話ができること自体が貴重な経験になるので、ざっくばらんをお願いします。

近況としては、今年から沖縄への修学旅行を行いました。沖縄の良さを体感しました。

三年生の進路状況としては、総合型選抜で27名（国公立4名、私立8名、その他専門学校等10数名）の合格が決まり、次に学校推薦型選抜が控えております。

出席者自己紹介

学校評価 中間評価（中西教頭先生）

- ・ 2の学校教育目標の紹介
- ・ 3のカリキュラムポリシーの力を育成すべく教育活動に取り組んでいます。
- ・ 4の①～④を目標に取り組んでいます。
- ・ 相互授業参観で指導力向上に取り組んでいます。

- ・進路 総合型選抜の結果が出て、これから学校推薦型選抜です。
- ・双松祭は、体育の部と文化の部ともに生徒の満足度80%以上でした。
- ・いじめは些細な内容でも覚知し、丁寧に指導しています。
- ・時間外勤務の削減に取り組んでいます。48%減を達成しています。
- ・定期検診と人間ドック受診率が100%。
- ・唯一無二の誇り高き学校づくりについては、学校運営協議会の開催、新コース制導入における校内体制の確立を行い、普通科改革に取り組んでいます。
- ・地域のボランティアに参加した生徒の割合が47%だが、西高＝ボランティアというイメージの中で考えると、思っていたよりも低かったです。最近では、寺子屋、くんち後の清掃活動などに各部活動で参加しました。このような取り組みを通して、魅力づくりに努めています。中学生の第一志望者を増やしたいです。

7 限目の流れの説明（山口）

- ・資料の確認
- ・体育館で My テーマの発表をします。
- ・委員やラーニングパートナーにグループに入ってください。

<進め方>

1人3分以内で発表するので、一言アドバイスをお願いします。全員分の発表が終わったら座談会のような形で話をしたり質問に答えていただいたりしていただければ。

<フィードバックしていただきたいこと（6項目）>

目的は My テーマについて深めていく機会になれば、と思うので、専門的なアドバイスというよりも、なぜこのテーマなのか、どのように進めていくか、などを問いかけていただければ。

ループリックの紙

質問される際に、複数の視点でとらえられたテーマになっているか、他の分野に関連付けられたテーマになっているか、などを見ていただければ。生徒によっては進度が違っているおり、詳しく考えられている、まだテーマをよく考えきれていない、キーワードだけしか考えられていない等の状況です。※メモを取りながら聞くようになっているので、〇〇さんのこういうところが参考になるんじゃない、というような声かけもしていただければ。

<Q&A>

Aさん：MY テーマは今後どのくらいの重みをもつのか？ 2年3年でどのくらいこのテーマで引っ張るのか？

山口：コースを決定し、同じようなテーマでグループづくりをして進めていきます。今回の MY テーマで必ずしも進めていくとは限らず、グループの中で、2年生でのテーマを深めます。グループではなく、このテーマで個人で進めていく生徒もいます。

高校魅力化評価システム 第1回目生徒アンケート結果（田島）

資料最終ページ：100問から抜粋

- ・5%以上塗りつぶし（全国との差が大きいところ）：①2、①3、②5、③5、④1、④4、⑥5、⑥6
 - ・全体としては、こちらがレールを敷いて率いるというよりも、自分たちで一から考えて何かをするというところが深くなってきている
 - ・社会とのつながりも高く出ている。
 - ・経年変化というところでは、全国との差と同じ傾向だが、
- ④3 マイナス7.8%←去年よりもしていないという結果に見えるが、「総合的な探究の時間では行ったが、自主的ではなかった」と生徒たちが捉えたため、低くなっているのではないかと考えられる。
- ⑤1←もともとが低いですが、経年変化的には上がってはきている。入学時にはお勧めと思わなかったが、学年が上がるとお勧めできる、という風に思うようになったということだと推察される。

（中西教頭）

- ・⑤1は、専門系の学校は高く、普通科の学校は低い傾向がある。（宿題が多いからなどの理由が考えられる。）
- ・地域との関わりに関する項目は高くなっている。
- ・学習環境を整えることで、社会性についての項目の向上が見られる。

「MY テーマ」発表についての感想やフィードバック

Bさん：環境3のグループで、海洋プラスチックをテーマに選んだきっかけとして、地域で漂流しているごみを見たり、動画でごみを回収するものを見たりして、ごみの活用に興味を持った。海洋プラスチックは、全国的に、世界的にも問題になっている。興味を持つきっかけが大事であり、今日の活動で、さらに興味を持ってもらえたと思う。

Cさん：漁業関係の生徒が4人ほど。授業で調べるのには限界がある。休日は市役所や漁協に聞けず、制限がある。授業中に電話をするのを許可できれば、少しは緩和されるのでは。

Dさん：医療のグループ。看護師になりたい生徒さんが集まっていた。人材不足、不規則勤務など、ネガティブな課題を取り上げている生徒が多かった。明るい未来を見ながら、という視点を持つことを助言した。日本全体の問題を取り上げてしまうと、規模が大きすぎるので、佐賀県や唐津など、身近な範囲について考えるのが良いのではないかと。こちら側が話すことが多くなってしまった。初対面の人と話をするのに慣れていなかったようだ。

Eさん：建築のグループだったのだが、人数に対する時間の制限があったため、引き出すというよりは全体への助言にとどまってしまった。関連企業への依頼については、時間や手間が必要だと思う。一人一人の発表はよく考えてされていた。良い取り組みだと思うので、進めていく中で、建築に興味を持ったり、自分は良いことを調べている、という気持ちを持つことで、自己肯定感にもつながるのでは。

Fさん：その他の分野で、色々なテーマが混じったグループだった。野良猫を減らすことについて取り上げている生徒がいて、具体的な案が出ていて面白かった。(去勢についてやペットセラピーなど) 寺の檀家が減っているということを取り上げている生徒もいた。売り上げの側面から経済の分野につなげたり、お布施の側面から社会学(寄付文化のような社会的アプローチ)につなげたりできるのではないかな。

こうなってほしい、どうあってほしいか、ということが明確だと今後の探究がしやすいのでは。

簡単そうだからという理由でゴミをテーマにしている生徒もいたが、そのような設定の仕方では、あとで困りそう。テーマが先で、現状がこうで、この先こうなってほしい、という道筋をつけた方が良い。

それぞれにテーマを考えていてすごかった。

Gさん：Q テーマ設定のシートはありますか？

山口：A 分野の中からキーワードを抜き出して、調べたことをメモしてテーマ設定につなげました。設定の理由、連携先まで記入しています。

Gさん：「なぜ？」を5回繰り返すと深まる、という門脇さんの助言が参考になった。その順番でシートにまとめられると、考えもまとまり、生徒の説明力も上がるのでは。そちらの方が講師側も理解しやすかったと思う。

Hさん：環境に関するテーマを出してもらった。とっつきやすい問題だが、背景には何があるのか(利益にならない等)、経済とつなげて考える必要がある。解決を目指していくことが難しい分野でもあるので、その先にどうしていかなければならないか、を考えていけない。

市役所としては今後も連携していきたい。決められた学習時間だけだと、発表とフィードバックをするだけでは深まらないところもあるから、気軽に市役所に来てもらって、話ができれば。来年の大阪万博で発表してみようなど、カリキュラムの制限はあるが、連携していきたいと考えている。

中西教頭：カリキュラムについては、学校設定科目としての総合的な探究の時間を2時間続きにする等、検討中です。

Iさん：観光というテーマが広すぎて、食もあるし交通の便もあるし、旧跡や観光名所を発掘するなど、生徒は総合的に話をしていたが、テーマが広すぎて検討しにくい。テーマを狭めたほうが深堀しやすいと感じた。食のイカの活き造りで、イカがとれないからイカに代わる新しいものをつくりたい等の意見が出た。観光協会、旅館業界などと連携して、試食したり商品化したりするとよい。生徒のモチベーションアップにもなり、業界への刺激にもなりそう。

Jさん：情報・デザインのグループでした。人の目を引くデザインやAIを使った広告などをテーマにしていた。発表する力をつけるという点で、今回の活動は学びになっていたと思う。無人駅で困っていた年配の女性を助けるためにどうするか、など、身近なところから考えているのが良かった。

教育振興課：主体的に動いている姿を見て参考になった。よく調べている生徒はワークシートにびっしり記録を取っていて、事前調べをよくしているようだった。社会とのつながりについて、思ったより多くの生徒が持っていた。ここに至るまでに自分が社会の一員であること、どのような課題に向かって取り組んでいきたいか、が比較的よくできている。教頭先生の話によると、一学期にフィールドワークで社会に出ていくことで、社会とのつながりを持っている生徒が多かったのではないかと思う。参考になりました。

挨拶

岡本校長：あらためて本日はお忙しい中ありがとうございました。個人差が大きいのは事実だが、自由にやらせて、困っている生徒をいかに支援していくか、を考えながら探究活動をすすめていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

中西教頭：アンケートへのご協力をお願いいたします。

今後もお声かけさせていただくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。